

県連ニュース

発行者：木原 望

TEL : 096-387-2826
FAX : 096-381-5442

第13回全日本民医連学術運動交流集会が
つくば市で開催される

10月6日(金)〜7日(土)第13回全日本民医連学術・運動交流集会が茨城県つくば市で行われました。『①民医連の「医療・介護活動の新しい2つの柱」を豊かに発展させ、無差別・平等の医療と福祉の担い手づくりをすすめよう』、『②社会保障をまもる総がかり行動をひろげ、安心して住み続けられるまちづくりをすすめよう』、『③戦争する国づくりと改憲を許さず、平和で希望ある時代を切り拓こう』をメインテーマに、1日目は奈良女子大学教授 中山徹氏の講演(題『政府が進める地域の再編に対して、安心して暮らし続けられる地域をどう展望すべきか』)と分科会、2日目は4つのテーマ別セッションが行われしました。全国から150名、熊本からも11名が参加しました。今回参加し、全国に沢山の民医連の仲間が『無差別・平等の医療と福祉』を展開するために、

できる事を創意工夫しながら取り組んでいる姿に励まされました。

私自身、多くの患者と関わる中で様々な背景を見てきました。生活困窮になっ

てしまう方、取り巻く環境により病状悪化に繋がる方など、問題が複雑化しているケースもあります。その人を見る事、その背景に隠されている社会問題に気付く事が民医連綱領にもある「生活と労働から疾病をとらえる」に繋がります。だからこそ、事業所内の多職種や地域との連携を大切にし、患者さんの些細な変化を発信する工夫を考える事が重要だと思いました。

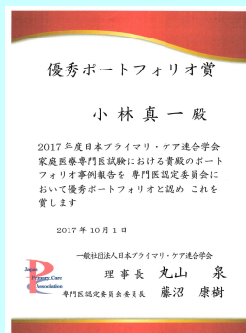
また、1日目の講演で「今の日



小林真一先生が家庭医療専門医試験合格 &優秀ポートフォリオ賞受賞!

くわみず病院の小林先生が日本プライマリ・ケア連合学会
家庭医療専門医試験に見事合格し、当県連第1号の家庭医療
専門医となりました。さらに、優秀ポートフォリオ賞も受賞！
4人のうちの1人に選ばれたということで本当にすごいことだ
と思います。当県連としてもこの実績を広め、研修を希望す
る医師が一人でも増えることを期待しています。
小林先生に会った際はぜひお祝いの声掛けをお願いいたしま
す(^ ^)

県連事務局 井芹史乃



http://www.primary-care.or.jp/nintei_fp/portfolio.html →プライマリ・ケア連
合学会の優秀ポートフォリオ賞受賞者はこちらのアドレスから見るができます。

本社会は、少子高齢化の中、若者世代を集めるため、首都圏は大型開発を推進し人を集めている。しかし、そうなると地方の若者人口が減少し、自治体の財政悪化につながる。自治体は最終的に予算配分の見直しを行い、社会保障費を削減したり、公共施設の閉鎖・民営化をしている。」との話が印象に残っています。

医療・介護負担増に加え、年金削減や生活保護受給の風当たり悪さなど、社会保障への厳しい対応が強まっています。しか

し、その状況は社会が生み出したもので国民が作ったものではないかもしれません。憲法25条で保証されている『健康で文化的な最低限度の生活』を守るためにも私たち国民は声をあげないといけません。

今回学んだ事をもとに、普段の業務や民医連活動を通して、もっと社会問題に目を向け、自分の職場で出来ることを少しずつ行っていきたいです。

菊陽病院 PSW 森 麻里恵